

2012年度 修学院フォーラム

若者の未来に寄り添う

—自傷、自死、カルトへの衝動のなかで—
第2回

〈主催〉(財)日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

〈協賛〉 京都キリスト教協議会

いま希望は、若者の問題ではなく、この国と国際社会の問題として語られ、ときに絶望の時代という声さえ聞こえてきます。コミュニケーションの技法までマニュアル化される時代に、なぜ、若い人びとは孤独を見つめ、自傷と自死、そしてカルト宗教への衝動を抱えてしまうのでしょうか。具体的な事例も含めて未来ある人びとの魂の声を聞き分けながら、若い人びとに希望と取り戻すための方途を探りたいと願っています。

絆とは何か—ホームレス支援から見た無縁日本

講師： **奥田 知志**
(日本バプテスト連盟 東八幡キリスト教会牧師)

3・11以後、「絆」がブームとなりました。私自身、ここ数年「絆」について多くの場面で語ってきました。しかし、「絆」が連呼される事態の中で、私は「絆」に対して少々懐疑的になっていきました。無縁社会を生きる私たちは絆を必要としています。人はひとりでは生きていけません。だからこそ「絆」を問いたいと思います。

ホームレス支援の現場で、また震災支援の現場で問われた絆についてお話します。
(奥田 知志)

日時：2012年 7月 21日(土) 13:30~17:30

場所：関西セミナーハウス 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

参加費：2,000円、学生 500円 ※会場への地図は裏面をご覧ください。

7月18日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。



奥田 知志 OKUDA Tomoshi

日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会牧師
(特活) 北九州ホームレス支援機構理事長
(特活) ホームレス支援全国ネットワーク理事長、他団体役職多数
北九州市立大学大学院特任教授 (NPO/NGO特論)、西南学院大学神学部講師

1963年滋賀県大津市生まれ。1977年 大津キリスト福音教会にて受浸。1988年 関西学院大学神学部大学院 修士課程卒業 1982年~1988年 大阪釜ヶ崎にて支援活動に参加、1990年 西南学院大学神学部専攻科卒業

1990年 東八幡キリスト教会牧師就任

2000年 NPO法人北九州ホームレス支援機構設立 理事長就任 (裏面へ続く)

2004年 「第34回毎日新聞社会福祉顕彰」受賞 他団体受賞多数
 2009年、2012年4月 NHK総合「プロフェッショナル 仕事の流儀」他出演多数

著書など: 共著『ホームの回復』(2006年明石書店)第5回日本NPO学会賞受賞
 論文「絆の制度化」(「都市問題」2010年7月号 東京市政調査会)、論文「ホームレス
 支援から見た第三の貧困—絆が人を生かす」(2010年 自治フォーラム Vol611)、
 『「ホームレス」と教会」(2010年 連盟ホームレス委員会)
 『もう、ひとりにさせない わが父の家にはすみか多し』(2011年いのちのことは社)
 他、共著、論文、各誌原稿掲載、対談掲載多数

2012年度 修学院フォーラムのご案内

◇ エネルギーを考える—原子力発電の根本的問題と我々の選択

10月7日(日)～8日(月)

「科学・技術の視点から」講師 北澤 宏一(独立行政法人科学技術振興機構顧問・
 前理事長、福島原発事故民間独立調査委員会委員長)

「キリスト教倫理の視点から」講師 栗林 輝夫(関西学院大学法学部教授)

◇ 高齢を生きる—認知症・胃ろう・尊厳死を見据えて

第1回 5月12日(土)「高齢者の終末期医療とケアを考える」

講師 葛原 茂樹(鈴鹿医療科学大学教授(保健衛生学部医療福祉学科)、神経内科医師)

第2回10月27日(土)「高齢者福祉を繕う新たな動き—NPOちいろばの働きを考える」

講師 君村 淳(NPOちいろば「晴れる屋」責任者)

君村 千代子(NPOちいろば「スカサ」責任者)

第3回12月15日(土)「高齢を生きる—認知症・医療的介入(胃ろうなど)・尊厳死を見据えて」

講師 根岸 宏邦(豊中愛和会理事長)

第4回2013年1月19日(土)「尊厳死」思想の形成と変容—尊厳死と安楽死(仮)

講師 大谷 いづみ(立命館大学産業社会学部教授)

(財)日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

運営委員長 小久保 正

プログラム係 都木 かおり



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2012年度 修学院フォーラム「若者の未来に寄り添う」第2回 参加申込書

(フリガナ)				
名前	所属			
住所〒				
電話 ()	—	FAX ()	—	携帯 ()
電子メール:	@			